



「豊かな人間性と創造性を持ち、心身ともに健康で、たくましく生きる児童を育成する」

異学年交流「さざなみフェスティバル」

11月15日(金)に児童会行事「さざなみフェスティバル」を実施しました。展示コーナーでは、1年生が生活科で制作した松ぼっくりを利用したけん玉等を展示すると共に、1年間の学校行事について紹介しました。子供たちは、既製のおもちゃとは違った手作りならではの面白さを実感できたようです。2年生は、秋をテーマにした作品を、3年生は、体育館の装飾や図工作品を展示しました。

4年生以上は、魚釣りゲームや的当て、神社占い等様々な出店を用意していました。また、折り紙で作った景品を用意するなどお客さんに喜んでもらえるようアイデアを出し合い協力して準備したことがよく分かる出店でした。



出店は大盛況！！

そして、今年も階上保育所の子供たちを招待し、1年生がお兄さんお姉さんとしてお世話をしながら一緒に各出店を回りました。上級生が下級生に楽しんでもらおうとアイデアを出し合った出店は、どれも来た人を楽しませる工夫と優しい笑顔に心のこもった接客で、子供たちの歓声と笑顔があふれ大盛り上がりでした。1年生もしっかりとお兄さんお姉さんとしての

役割を果たす姿が見られ、頼もしく感じました。今回の「さざなみフェスティバル」での異学年交流を通して、上学年として下学年を楽しませるという目標を達成するために何をすべきかを考え、実行することの大変さや楽しんでもらった喜びを味わう良い経験となりました。また、下の学年は、先輩への憧れや自分たちが次に活躍してみたいという意欲が高まったようです。この経験が次の活動へとつながり、益々子供たちが活躍してくれることと思います。



階上保育所との交流

工夫を凝らした出店



先生たちのサプライズ演奏

「階上地区総合防災訓練」ありがとうございました



11月17日(日)には、「階上地区総合防災訓練」が実施されました。午前中は、各地区での訓練を実施し、災害が起きた時に自分の命や身の安全を守る、「指定避難所への避難」や「炊き出し訓練」、地域の危険箇所や安全な場所の確認をした4年生による「防災マップ」の発表などが行われました。子供たちにとって、地域・保護者の皆様と一緒に防災訓練を行う貴重な体験となりました。

また午後には、東日本大震災遺構伝承館及川館長さん、熊谷副館長さんを講師に招いて、1・2年生は、「楽しく防災学習」(新聞紙でスリッパ作り、防災ダック)、3～6年生は「防災講話」東日本大震災時の地震や津波による被害の様子や命を守るために何が大事かについて講話をいただきました。そして、地区別に「図上訓練」を行い、地図上で自分の家の場所や避難場所、地域の危険な場所の確認をしました。その後、地区別下校訓練(集団下校)を実施しました。保護者、地域の皆様には、子供たちが、自分の身は自分で守れるよう、今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

